

令和5年度

# 若者世代が参画する地域づくり

選挙権年齢に続き、令和4年4月からは成人年齢も18歳に引き下げられました。

それに伴い、令和3年度に中学校「公民」の学習指導要領の改訂や令和4年度には高等学校に「公共」が新設され、現代社会の諸課題について中高生が探求活動を展開し、社会への関心を育むことが期待されています。こうした中、すでに複数の自治体で「若者会議」や「子ども議会」などが開催され、地域と若者の関わりを深める取り組みが進められています。

この研修では、若者世代の地域に対する意識を醸成し、また、若者世代の意見を施策やまちづくりにつなげる取り組みについて講義や事例を通して学びます。

## 開催要領

日 程

令和5年9月13日(水)～9月15日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

企画、まちづくり、コミュニティ振興、生涯学習等の業務に関わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年7月26日(水)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

9月  
13日(水)

11:00~

**入寮受付・昼食**

12:30~

**開講・オリエンテーション**

13:00~15:35

**講義 人口減少時代の自治体経営と若者が参加しやすいまちづくり**

東京都立大学法学部 教授 大杉 寛 氏

人口減少時代の自治体経営には、若者や女性をはじめ地域内外の多様な「人財」が活躍できる環境づくりが求められています。若者世代の参加することによる効果や、彼らが参加しやすい仕組みづくりについて、事例を上げて説明いただきます。

15:50~17:20

**演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム**

東京都立大学法学部 教授 大杉 寛 氏

受講者の自治体で行っている、又はこれから行おうとしている若者のまちづくりへの参加を進める取組みについて、ワークショップ形式で意見交換を行い、よりよい取組みへのヒントをつかみます。

17:45~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

**事例紹介① デジタルネイティブが参加しやすいまちづくり**

TIS株式会社 デジタル社会サービス企画ユニット デジタル社会サービス企画部 エキスパート  
加古川市役所 スマートシティ推進支援アドバイザー 多田 功 氏

加古川市のスマートシティ推進の担当として、デジタルとリアルを融合させた市民参加型合意形成プラットフォーム(加古川市版Decidim)を導入。また、チャレンジ!! !! オープンガバナンス2021の受賞にも繋がった、高校生が考えた市の課題や解決策に対して、企業担当者とともに取り組んだプロジェクトなども紹介いただきます。

10:50~12:00

**事例紹介② 富田林市若者会議について**

大阪府富田林市教育委員会生涯学習部生涯学習課 副主任 井関 貴央 氏  
富田林市若者会議OB・OG会「心はいつも富田林(こことん)」  
大竹 倫太郎 氏、竹下 佳月羽 氏

富田林市は令和2年度に若者が活躍できるまちづくりの推進のため「若者条例」を制定し、市政に参画する機会確保のため「若者会議」を設置しました。今年度で第三期を迎える若者会議の活動状況や、任期を終了した委員で構成するOB・OG会の活動内容等を紹介いただきます。

13:00~14:10

**事例紹介③ 多摩市における若者政策**

東京都多摩市企画政策部企画課 企画調整担当主査 西村 信哉 氏  
合同会社MichiLab 高野 義裕 氏、高木 康裕 氏

2017年から多摩市の事業としてスタートした「多摩市若者会議」は、市内外から3年間で延べ735名の参加を得、4年目の2020年からは市との協力関係を継続・発展しながら若者会議メンバーが設立した「合同会社MichiLab」による自立自走の運営体制に移行しました。これまでの活動や今後の展開の他、多様に進む中高生との取組みなども紹介いただきます。

14:25~15:35

**講義 若者を本気にさせるファシリテーション**

合同会社TAO 代表 林田 暢明 氏

アイデアを出して終わりのワークショップではなく、企画から実施まで若者が自ら動いていくような活動にするためのファシリテーションの設計について、多摩市若者会議の事例を交えながら解説していただきます。

15:50~17:00

**クロストーク 若者の『やりたい』を引き出す行政・市民・ファシリテーターの役割**

多摩市企画課の西村氏、合同会社MichiLabの高野・高木両氏、合同会社TAOの林田氏の三者4人による座談会。多くの若者をひきつけた多摩市若者会議での経験を踏まえ、それぞれの役割やお互いへの影響などを語っていただきます。

9:25~12:00

**演習 ワールドカフェ～若者とまちをつくるために取り組む第一歩**

合同会社TAO 代表 林田 暢明 氏

受講者がワールドカフェの参加者となり、若者世代が参画する地域づくりをしていく取組みのファーストステップを考えます。

12:00~12:30

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和5年

9月  
14日(木)

令和5年

9月  
15日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。